

SC-48 エキスパートのアドバイス

“An expert’s advice ” by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

ウェブ・スミス は、多くの人に古今を通じて最高のシャフルボード・プレーヤーと考えられている。ウェブ は 50 年代～60 年代にプレーし、フロリダと全米のトーナメントで 100 回以上優勝した。私は彼のプレーを見たり、彼とプレーをした人々と話す機会があった。私は 1968 年の全米大会の試合で彼に負けた。

ウェブはゲームを隅々まで良く知っていて、戦略、戦法について話すのが好きだった。彼の話の 1 つを紹介する。非常に単純で普通の状況のものだ。

シュートしようとしているブラックのディスクが 10 オフに入っていて、相手のイエローが 7 に得点している。2 つのディスクの間隔は 30cm 以上だ。ウェブは、ここで両方のディスクを取り除き、そして相手のディスクを 10 オフに入れようとするプレーヤーが非常に多く、これは悪いショットだと言った。ビキナーからエキスパートまでの全てのプレーヤーが、このプレーをしているのを見ていると付け加えた。

シューターの正しいショットは、7 の正面に当てて置き換え、そして相手のディスクを 10 オフに入れようとするもので、シューターは自分の 10 オフを完全に無視しなければならない、とウェブは言った。

相手の 7 イエローを自分の 10 オフと置き換えるコンビネーション・ショットが完ぺきに行なわれると 27 点差を得る。ウェブの方法のショットが完ぺきにおこなわれると 24 点差を得る。二つの結果に大きな差はない。しかしどちらの場合も、最もありそうな結果は、上記で望んだ完ぺきの結果ではない。コンビネーション・ショットを試みた時に最もありそうな結果は、7 を取り除いたシュート・ディスクはコートの外に滑り出て、自分の 10 オフは残り、7 点差を得るだけだ。ウェブの方法で最もありそうな結果は、相手の 7 イエローを取り除いて自分の 7 と置き換わり、自分の 10 オフはそのまま残り、14 点差を得ることで、これは殆ど確実だ。

ウェブ の考え方のスタイルは、完ぺきなショットによる結果よりも、最もありそうな結果を狙うことだ。彼の選択は、7 点差を得るか又は 14 点差を得るかに過ぎなかった。彼の熟練した技術を使っても成功しそうな結果は狙わなかった。

勿論、10 オフをリバーすするのは、7 を置き換えるよりも楽しいので、あなたはこの状況に直面すると、きっとリバーすしようとするでしょう。私もそうだ。しかしウェブ・スミスの考え方に、私は意義を唱えない。

